

がん看護学特論

単位数：2単位

時間数：30時間

開講年次及び学期：1年次前期

○若崎淳子 臨床看護学講座 教授
宮下美香 広島大学大学院医歯薬保健学研究科看護開発科学
講座/老年・がん看護開発学 教授

1. 科目の教育方針

がんとともに生きる人々とその家族の体験を理解し、全人的ながん看護を実践するための基盤となる理論や概念を学習する。また、がん看護実践領域における諸現象を理論や既存の研究成果と対照しながら考察を深める。そして、それらを活用し、治療・療養過程にあるがん患者とその家族が抱える身体的・心理社会的諸問題を理解し、生活の質を高める専門的な看護援助のあり方を探求する。がん看護専門看護師の活動を理解すると共に、がん患者を理解し援助するための看護の諸理論を看護実践に適用し、説明できる思考能力の育成を目指す。

2. 教育目標

- 1) がんとともに生きる人々とその家族の体験を理解し、全人的ながん看護を実践するための基盤となる理論や概念を理解する。
- 2) がんとともに生きる人々とその家族に対して専門的看護を実践するうえで基盤となる主要な概念・理論を踏まえ、実践への適用について探求する。
- 3) がん看護実践領域における諸現象を理論や既存の研究成果と対照しながら考察を深め、治療過程に在るがん患者とその家族が抱える身体的・心理社会的諸問題を理解する。
- 4) がん患者とその家族が抱える全人的苦痛や諸問題に対して包括的な支援を提供できるよう、患者とその家族の QOL の維持向上を目指したエビデンスに基づく専門的な看護援助について探求する。
- 5) がん看護専門看護師の歴史や活動、果たす役割を理解する。

3. 教育の方法、進め方、評価等

- ・高度ながん看護実践に活用できる理論的知識を習得するとともに、看護実践の場を論理的に捉えることができる思考能力の育成を目指す。
- 1) 授業では講義の他、受講生各自のレポート内容に基づいたプレゼンテーションやディスカッションを行う。
 - 2) 授業への臨み方
 - ・受講生は文献(研究論文を含む)を基に課題レポートを作成し授業に臨むこと。
 - ・高度看護実践者として役割開発・発揮できるように、がん患者を取り巻く社会や健康課題・健康問題に関心をもち、がん患者の生活の質を高める看護実践ができるための知識や問題解決能力が身につくよう、目的意識や問題意識をもって授業に臨むこと。
 - ・がん患者やがん医療・看護に関する最新情報について、文献等から主体的に学習すること。

3) 評価

[レポート]

50% (課題レポートの内容：根拠に基づく系統的記述及び論理的考察を重視する)

[プレゼンテーション]

20%

[受講態度]

30% (毎回の授業への取り組み姿勢、ディスカッション内容)

4. 使用テキスト、参考文献等

1) テキスト

授業中、適宜紹介する。

2) 参考図書

小島操子、佐藤禮子監訳 がん看護コアカリキュラム(医学書院)(最新版)

その他参考書：がん看護に係る原理と実践に関する文献を適宜紹介する。

5. 教育内容

回	内 容	担 当
1	がん看護の動向-先進諸国とわが国の変遷- がん看護専門看護師の歴史と活動	宮下美香
2	Evidence-based Oncology Nursing がん患者を取り巻く状況とがん看護領域の優先すべき研究 課題	宮下美香
3	がん看護学領域における理論と活用 がん患者の理解と主要な概念・理論(1) Cancer Survivorship その1	宮下美香
4	がん患者の理解と主要な概念・理論(2) Cancer Survivorship その2	宮下美香
5	がん患者の理解と主要な概念・理論(2) サイコオンコロジー	宮下美香
6	がん患者の理解と主要な概念・理論(3) Social Support	宮下美香
7	がん患者の理解と主要な概念・理論(4) Self-care	宮下美香
8	がん患者の理解と主要な概念・理論(5) Quality of Life	若崎淳子
9	がん患者の理解と主要な概念・理論(6) Total pain	若崎淳子
10	がん患者の理解と主要な概念・理論(7) ストレス・コーピング	若崎淳子
11	がん患者の理解と主要な概念・理論(8) 喪失、危機理論	若崎淳子
12	がん患者の理解と主要な概念・理論(9) 悲嘆	若崎淳子
13	がん患者の理解と主要な概念・理論(10) 自己概念	若崎淳子
14	事例検討：がん看護実践における現象の説明-理論を用いて-	若崎淳子
15	課題発表・討議： 治療過程に在るがん患者とその家族が抱える身体的・ 心理社会的諸問題の理解と専門的看護援助	若崎淳子

嘱託講師は集中講義とする。